

## 平成25年度 丹後広域振興局 運営目標

<b>地域 振興計画</b>	<b>基本方針</b>	1	産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)	
	<b>重点施策等</b>	(1)	海の京都構想・丹後「日本海観光」プロジェクトの推進	基本目標
<b>運営目標</b>	1	観光入込客数600万人、宿泊者数110万人を目指して、強い集客力を持つ新たな「海の京都観光圏」を形成し観光誘客を図ります。		
	小項目	①2市2町の戦略拠点において地域住民主導のまちづくり委員会と協働し、魅力的な事業を実施し、地域産業の活性化を図るとともに雇用の創出に努めます。 (官民一体となった各拠点毎の魅力発信事業、戦略拠点を結ぶ海上交通を利用した新たな周遊や電動レンタサイクルなど移動ルートの設定、民間観光関連施設の外観景観形成支援等) ・12事業(2市2町各3事業)以上【新規】		
	小項目	目標設定の考え方	「海の京都」構想	
	小項目	②「海の京都観光推進協議会」で策定される統一ロゴを活用し、「海の京都」の魅力を国内や世界に向けて情報発信するとともに、丹後小町踊り子隊や丹後語り部の会、京丹後宿おかみさんと連携し参加者に対するおもてなしで丹後の魅力をPRします。 - TANTANロングライド ・参加者1,500人 【24実績：957人】 - 100kmウルトラマラソン ・参加者3,100人 【24実績：2,720人】 - 近畿高校駅伝 ・参加者4,300人 【新規】 - 関西学生駅伝 ・参加者1,000人 【新規】 - ASEANファッションウィーク ・参加者1,000人 【新規】		
	小項目	目標設定の考え方	実行委員会等主催者側の設定数値	
	小項目	③「海の京都」の歴史の拠点づくりを支援します。 -「丹後郷土資料館」を核として圏内の歴史遺産等を体系化し、海の京都歴史観光ルートとして整備します。 -海の歴史や大陸との接点を紹介する企画展等の開催を支援します。		
	小項目	目標設定の考え方	「海の京都」構想	
	小項目	④海の京都検定(旧北京都丹後ふるさと検定)の実施を通じて、丹後を学び、地域の魅力を再発見できるきっかけとするとともに、語り部として「海の京都ガイド(仮称)」を養成し、「全国語り部大会」を開催するなど、丹後を歴史、伝説、昔話などの最大集積拠点として発信します。 ・検定受検者数 200人 【24目標:150人 → 実績:165人】 ・「海の京都ガイド(仮称)」養成者数 120人【新規】 ・「全国語り部大会」参加団体数 15団体 【新規】		
	小項目	目標設定の考え方	「海の京都」構想	
	小項目	⑤丹後地域の歴史、文化、自然環境を活かし、次世代のリピーターを確保するために、子どもを対象にした丹後ならではの体験旅行コースをモデル的に設定します((例)琴引浜環境保全コース、天橋立清掃コース、海と星の見える丘公園自然満喫コース、立岩ジオパーク学習コース等)。 ・5コース設定【新規】		
小項目	目標設定の考え方	「海の京都」構想		

運営目標	2	丹後半島一周道路等「海の京都」構想の実現に向けた整備を推進します。	
	小項目	①丹後半島に点在する『海の京都』戦略拠点である「天橋立」「伊根の舟屋」「夕日ヶ浦」や、「経ヶ岬」「丹後松島」等の景観地を大型バスで周遊することを可能にする国道178号の整備を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 蒲入バイパス[H27年度完成]、里波見工区[工事着手]</li> <li>－ 法面防災工事の促進(3箇所発注、6箇所完成)  【24目標:3箇所発注(うち新規1箇所)、2箇所完成→実績:5箇所発注(うち新規3箇所)、2箇所完成】</li> </ul>	
		目標設定の考え方	・H27年度供用開始目標に向けた事業の推進(蒲入バイパス) ・施設整備の計画的推進(防災工事)
		②山陰近畿自動車道(大宮森本IC)から、「丹後あじわいの郷」やジオパーク拠点「立岩・琴引浜」等の丹後半島の観光拠点へのアクセス道路の整備を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 国道482号(丹後弥栄道路)、(大山地区)[工事着手]、網野峰山線(郷地区)[工事着手]、府道網野岩滝線(久住工区)</li> </ul>	
		目標設定の考え方	・H26年度供用開始目標に向けた事業の推進(網野岩滝線(久住工区)) ・施設整備の計画的推進(国道482号、網野峰山線)
目標設定の考え方	③「海の京都」の戦略拠点と調和した河川改修を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 地域住民とのワークショップにより「ちりめん街道」と調和した河川改修を実施(加悦奥川[宮野橋着手])</li> </ul>		
目標設定の考え方	「海の京都」構想		
運営目標	3	畜産体験と丹後半島の海と山・高原の観光資源が一体となった碓高原牧場を活用します。	
	小項目	①府民に親しまれる憩いの牧場づくりのため、牧草地など牧場景観の一層の向上と新たな観光資源としてのラベンダー畑の整備・管理を行うとともに、積極的な情報発信による観光客の増加を目指します。 ・観光客数 30,000人 【24実績:23,000人】	
		目標設定の考え方	平成24年観光客(23,000人)の30%増
		②家畜防疫に配慮しつつ、放牧牛やふれあい家畜の更なる見える化を進め、生態展示を取り入れた幼稚園、小学生等の学習見学や小中高生の畜産体験学習の受け入れを行います。 ・受け入れ者数 350人 【24実績:328人】	
目標設定の考え方	平成24年度実績の10%増		

地域 振興計画	基本方針	1	産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)	
	重点施策等	(2)	海の京都構想・「丹後・食の王国」プロジェクトの推進	基本目標
運営目標		4	「ほんまもん京ブランド」品目の農産物出荷額3.8億円を目指すとともに、丹後産コシヒカリの特A評価を連続して取得するなど、丹後の強みをいかした産品を強化します。	
			<p>①みず菜、九条ねぎなど「ほんまもん京ブランド」品目等の農産物の生産拡大を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間販売額 3.8億円【24目標:3.8億円 → 実績:3.2億円】</li> <li>・主力農産物生産体制の強化(作付面積確保) 49ha(内訳:みず菜22.3ha、九条ねぎ6.5ha、黒大豆枝豆13.6ha、トマト6.6ha)【24目標:48.4ha(みず菜 22.3ha、九条ねぎ 6.3ha、黒大豆枝豆 13.4ha、トマト 6.4ha) → 実績:40.4ha(みず菜17.2ha、九条ねぎ7.2ha、黒大豆枝豆10.2ha、トマト5.8ha)】</li> <li>・京たんご梨ブランド出荷率 32%【24目標:25% → 実績:32%】</li> </ul>	
		目標設定 の考え方	「明日の京都」中期計画に向けた野菜生産出荷計画の26年度目標額3.5億円以上として設定、同計画H25生産目標面積	
	小項目		<p>②良食味生産技術の普及による丹後産コシヒカリの特A評価を3年連続取得し通算11回を達成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良食味共励会の出品者数 110名以上【24目標:100名以上 → 実績:110名】</li> <li>・栽培管理の徹底等を図るタイムリーなメール情報の発信 22回【24目標:20回 → 実績:22回】</li> </ul>	
		目標設定 の考え方	丹後地域振興計画(32年度10年連続の「特A」評価、23・24年度「特A」獲得)	
			<p>③ブランド水産物の生産を拡大します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖トリガイの販売額 15百万円【24目標:丹後管内24百万円(府全体120百万円)→実績:丹後管内15百万円(府全体104百万円)】</li> <li>・養殖トリガイの歩留向上に向けたタスクチーム活動の強化と試験研究課題の設定(1課題:高水温に対応した育成技術の開発)【新規】</li> <li>・トリガイ養殖種苗生産数 57万個【24目標:54万個→実績57万個】</li> <li>・養殖イワガキの販売額 8百万円【24目標:丹後管内7百万円(府全体18百万円)→実績:丹後管内6百万円(府全体27百万円)】</li> <li>・「丹後ぐじ」の出荷量 10トン、販売額 25百万円【24目標:出荷量 10トン、販売額 23百万円→実績:出荷量 9トン、販売額 22百万円】</li> <li>・貝毒プランクトンのモニタリング体制の整備【新規】</li> </ul>	
	目標設定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(トリガイ)現在育成中の種苗数量に基づく</li> <li>・ブランド戦略推進事業「丹後とり貝」生産拡大事業:トリガイ養殖種苗生産目標 54万個/年</li> <li>・(イワガキ)現在育成中の種苗数量に基づく</li> <li>・(丹後ぐじ)25年度目標出荷量10トンを販売額に換算</li> <li>・養殖トリガイ等二枚貝類の食の安心・安全を確保するためにモニタリング体制を整備</li> </ul>		

運営目標	5	<b>地域一体となって丹後の食の魅力の戦略的PRや地域ブランディングを進めます。</b>	
	小項目	①「海の京都」の魅力発信に向け地域事業者・関係機関と連携し、「海の京都・丹後」を強く打ち出すデザインを作成して商品包装等に活用し、丹後の「食・住＋文化」をテーマに「ちりめん」や「TANGO TEXTILE」を中心とした物販やイベントによる「京都・丹後のたからもの展」を大阪市内で開催します。 ・来場者数 6万人 【新規】	
		目標設定の考え方	開催予定施設側の設定数値
	②「海の京都・丹後」の知名度アップに向け、丹後米改良協会や(社)京都府米食推進協会と連携し、丹後産コシヒカリイメージキャラクター「こしたん」を活用した特A評価10回獲得(西日本最多)実績PRや、丹後ブランドにつながる「こだわり産品」の首都圏等府外での販促活動及び「海の京都」PR展開により地域ブランディングを推進します。 ・首都圏等でのPR・販促活動 6回 【新規】		
	目標設定の考え方	地域振興計画推進費「丹後・食の王国」プロジェクト丹後産品ブランディング事業計画により設定	
	③丹後産茶の6次産業化推進による経営強化、知名度向上に向けたPR活動を展開します。 ・売上高 400万円 【24目標:300万円→実績366万円】		
	目標設定の考え方	24年度実績の10%増	
	④「丹後の食」の新たな魅力創出とブラッシュアップなどを図ります。 －丹後ならではの長寿を支える食材を使用した「丹後長寿御膳・弁当」を開発します。 ・新規開発 20品目 【新規】 －鹿・猪肉の安定供給を推進するため市町と連携し、食資源としての有効利用を進めます。 ・提供 10店舗 【24目標:8店舗 → 実績:7店舗】 －「丹後といえば、美味しいものを食べに行くところ！」のイメージの定着に向け、市町、関係団体と連携し、「丹後あじわい食」(丹後ばらずし・マリッジ半島あじわい食満喫等)提供店の主体的なPR活動を展開します。 ・ホームページやチラシ等を活用して域外向けに情報発信する事業者数 55事業者 【24目標:30事業者→実績:52事業者】 －海の京都の丹後の魅力ある「食」の情報を発信するためNEXCOと連携し、高速道路のサービスエリア等で「海の京都食フェア」を実施します。 ・3ヶ所、2シーズン 【24目標:数値目標無し → 実績:3ヶ所、2シーズン】		
	目標設定の考え方	地域振興計画推進費 丹後「食の絆」プロジェクト事業計画により設定	
	⑤京都市内のホテルで丹後地域の食材による料理フェアを開催(1回)します。 【24目標:1回→実績1回】		
目標設定の考え方	京都「丹後・食の王国」構想		

<b>運営目標</b>	<b>6</b>	<b>丹後あじわいの郷の年間来園者数12万人を確保するとともに、京都「丹後・食の王国」の拠点として機能充実します。</b>	
	<b>小項目</b>	①丹後地域の幅広い事業者との連携により京都「丹後・食の王国」マルシェや学生(高校生・大学生)レストランの開催などにより、丹後あじわいの郷を「食」と「観光」が効果的に融合する拠点として機能強化し観光誘客を促進します。 ・来園者数 12万人 【24目標:12万人→実績:109,122人】	
		目標設定の考え方	過去5年の最大入園者数(110,967人)を上回ること
		②「丹後あじわいの郷」に地域が連携して農産物を集荷・販売するとともに、首都圏等地域外へ共同出荷する機能を付加することで、「食」の販売拠点化を進め農業公園としての魅力を向上します。 ・年間出荷額 10,000千円以上 【新規】	
目標設定の考え方	地域振興計画推進費「丹後・食の王国」プロジェクト丹後産品ブランディング事業計画により設定		

<b>地域 振興計画</b>	<b>基本方針</b>	<b>2 産業振興による丹後地域の活性化(ものづくり産業等地域産業の振興)</b>		
	<b>重点施策等</b>	<b>(3) 海の京都構想・丹後ちりめん等織物業の振興</b>	<b>基本目標</b>	

<b>運営目標</b>	<b>7</b>	<b>丹後織物のブランド力の向上とビジネスモデルを推進します。</b>		
	<b>小項目</b>	①外部デザイナーの指導のもと丹後織物技術を活かした競争力ある新商品開発など、丹後ブランドの新たな展開を図るためのものづくり支援と企業育成を行います。 ・35企業【24目標:33企業以上→実績:33企業】		
		目標設定の考え方	24年度実績をベースに設定	
		②丹後ブランドの販路拡大とビジネスモデル構築に向けた、大阪市で開催予定の「京都・丹後のたからもの展」をはじめ大消費地等での展示商談会を開催します。 ・展示商談会 20回開催 【24目標:展示商談会16回→実績:19回】		
目標設定の考え方	24年度実績をベースに設定			

地域 振興計画	基本方針	3 環境と文化の伝承		
	重点施策等	(1)	海の京都構想・丹後ならではの自然環境・文化を活かし、守り育てる	基本目標
運営目標		8	ジオパークへの誘客200万人を目指して、日本海観光プロジェクトや丹後・食の王国プロジェクトと連携し、世界ジオパークネットワーク「山陰海岸ジオパーク」を丹後地域の新たな魅力として発信します。	
	小項目		<p>①京丹後市や推進協議会など関係機関と連携し、ジオパーク資源を活用した商品開発、KTRを活用した観光ツアーやドライブコースの策定などジオツーリズムを推進するとともに、山陰海岸国立公園指定50周年記念事業とも連携したPR事業を展開するなど、ジオパークへの誘客を推進します。</p> <p>・タンゴディスカバリー車両を活用した山陰海岸ジオパークを巡るツアー 1回・100人【24実績:1回・85人】</p>	
		目標設定の考え方	丹後地域振興計画数値目標(丹後地域を訪れる観光客数 26年度600万人)に基づく	
			<p>②日本ジオパーク認定再審査及び世界ジオパーク認定再審査に向け、地域住民が主体となった取組を推進します。</p> <p>－国内外のジオパークとの交流を推進するとともに、大学等の研究機関とも連携してジオサイトの見直し等を実施</p> <p>－ジオサイトの案内看板整備、ジオパーク内の公園施設の整備など維持管理の充実</p> <p>・ジオサイトの案内看板整備 8箇所【新規】</p> <p>－散策モデルコースの整備 近畿自然歩道(夕日ヶ浦)[休憩施設工事着手] 近畿自然歩道(立岩付近)[遊歩道整備完了]</p>	
目標設定の考え方	丹後地域振興計画数値目標(丹後地域を訪れる観光客数 26年度600万人)に基づく			
運営目標		9	天橋立の世界文化遺産をめざした取組と阿蘇海等の閉鎖性水域の環境改善を推進します。	
	小項目		<p>①阿蘇海の環境改善に資するシーブルー事業[浅い海底を覆砂]を推進します。</p> <p>・実施面積4,500㎡、覆砂面積23.1ha【24目標:4,500㎡→実績:4,400㎡、覆砂面積22.7ha】</p>	
		目標設定の考え方	世界文化遺産への登録	
			<p>②行政と地域が一体となった松並木保全や海岸の清掃を行います。</p> <p>・天橋立まもり隊などの活動延べ人数4,500人【24目標:4,000人→実績:4,251人】</p>	
目標設定の考え方	世界文化遺産への登録			

地域 振興計画	基本方針	3 環境と文化の伝承		
	重点施策等	(2)	海の京都構想・地域文化の伝承	基本目標
運営目標		10	国民文化祭で育んだ絆を更に強く結び、丹後が誇る「食」と「文化」を次代へつなぎます。	
	小項目		①高校生など次代を担う若者や24年度に創設した丹後小町踊り子隊等の文化活動団体の参画のもとで、「丹後・食の王国 食と文化の祭典」を体験型イベントとして実施します。 ・来園者4,500人【24実績:4,192人】 ・協力地域団体数60団体・事業者【24実績:54団体・事業者】	
		目標設定の考え方	丹後地域振興計画(国民文化祭を通じた文化活動の気運醸成)	
			②市町や各種団体が行う伝統行祭事や文化関連イベント等を「丹後文化絵巻」として一体的に広報するなど開催を支援します。 ・関連イベントの総参加者:100,000人【24目標:30,000人→実績:89,696人】	
		目標設定の考え方	丹後地域振興計画(国民文化祭を通じた文化活動の気運醸成)	
		③「海の京都」の歴史の拠点づくりを支援します。(再掲) -「丹後郷土資料館」を核として圏内の歴史遺産等を体系化し、海の京都歴史観光ルートとして整備します。 -海の歴史や大陸との接点を紹介する企画展等の開催を支援します。		
	目標設定の考え方	「海の京都」構想		

地域 振興計画	基本方針	4 府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり(人々が交流・連携する地域共生)		
	重点施策等	(3)	海の京都構想・より利用しやすい公共交通ネットワークの実現	基本目標
運営目標		11	市町や関係機関と連携した地域住民の活動支援等により、KTR年間利用者数210万人を確保します。	
	小項目		①観光型リニューアル車両を活用した企画列車の運行や子ども向けのイベント列車の運行、タンゴディスカバリー車両を活用した山陰海岸ジオパークを巡るツアーなどを企画・実施します。 ・子ども向けのイベント列車の運行 1回【新規】 ・タンゴディスカバリー車両を活用した山陰海岸ジオパークを巡るツアー 1回【24実績:1回】(再掲)	
		目標設定の考え方	丹後地域振興計画(KTR年間利用者数 26年度210万人)	
			②愛称命名や花壇整備、駅中交流スペースの創設など住民参加の魅力ある駅舎づくりを支援するとともに、地域食材を活用した駅弁販売や鉄道ファンを対象としたイベントなどを実施し、地域住民に親しまれる鉄道づくりを進めます。 ・魅力ある駅舎づくり支援 15駅【24目標:3駅→実績:12駅】 ・サポーターズクラブ等の会員年間10,000人を獲得【24目標:10,000人→実績:7,896人】	
	目標設定の考え方	丹後地域振興計画(KTR年間利用者数 26年度210万人)		

地域 振興計画	基本方針	1	産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)	
	重点施策等	(2)	「丹後・食の王国」プロジェクト (丹後・食の王国構想の実現に向けて)	基本目標
運営目標		12	丹後の特色をいかした新たな食材の開発や食関連ビジネスを創出します。	
			①平成24年度設立「丹後・食の王国ビジネス連携推進会議」の活動と連携し、地域内のビジネス共同運営の実践活動を支援します。 ・地域内ビジネス共同運営実践活動の支援 1組織以上【新規】	
			目標設定 の考え方	京都「丹後・食の王国」構想
			②食関連ビジネスの拡大のため食品関連企業の参入を支援します。 ・参入支援 1件以上【24目標:1件以上 → 実績1件】	
			目標設定 の考え方	京都「丹後・食の王国」構想
			③バイヤーを招き地元企業等が販路開拓するための大商談会を開催します。 ・出展30団体、商談成立10件【24目標:出展30団体、商談成立10件→実績:出展19団体、商談成立11件】	
			目標設定 の考え方	京都「丹後・食の王国」構想
	小 項 目		④丹後あじわいの郷に設置のビジネスサロンを中心に、異業種交流(観環農商工連携)や6次産業化など農業経営の多角化を支援します。 ・異業種交流の取組 13連携体【24目標:10連携体→実績:13連携体】 ・経営の多角化に取組む農業法人等 4経営体【24目標:4経営体→実績:4経営体】	
			目標設定 の考え方	丹後地域振興計画、農商工連携の取組支援5年間で新たに50件(異業種交流) 丹後地域振興計画、地域の雇用拡大と所得向上をめざす農業経営体の経営強化(経営多角化)
			⑤加工品や農産物をはじめ地域の特産物のビジネスチャンスを生み出し販路開拓を支援します。 ・首都圏等での商談会等への出展による販売促進の支援 4回【24:目標3回 → 実績:3回】	
		目標設定 の考え方	丹後地域振興計画(中小企業へのステップアップ支援)	
		⑥京都中央卸売市場への定期便を設定し、府南部での丹後産水産物の消費拡大を図ります。 ・年間出荷量 800トン【新規】		
		目標設定 の考え方	過去5カ年の実績(600トン/年)の30%増	

<b>運営目標</b>	<b>13</b>	<b>和牛振興基地をめざした牧場づくり(和牛生産基地である碓高原牧場における和牛子牛の生産拡大)を推進します。</b>	
	<b>小項目</b>	①遺伝能力の高い子牛の安定供給と優良受精卵供給増のため優良繁殖雌牛の導入を図るとともに、「和牛子牛育成マニュアル」による付加価値を高めた子牛を育成し、府内肥育農家の良質な牛肉生産を支援します。 ・子牛出荷 <u>60頭</u> 、生産頭数 <u>65頭</u> 、妊娠頭数 <u>70頭</u> 【H24目標:子牛出荷50頭、生産頭数55頭、妊娠頭数60頭→実績:51頭、61頭、67頭】 ・優良和牛雌牛導入 <u>8頭以上</u> 【H24目標:8頭以上→実績:8頭】	
		目標設定の考え方	子牛出荷頭数増(3年かけて70頭を達成)
		②和牛受精卵(胚)のPR(供胚牛紹介)や受精卵移植未実施農家での利用や農家採胚を進め、受精卵の供給を図るとともに、和牛妊娠牛譲渡を実施します。 ・受精卵譲渡目標 <u>300個</u> 【H24目標:300個→実績:233個】 ・和牛妊娠牛譲渡目標 <u>10頭</u> 【H24目標:10頭→実績:10頭】	
目標設定の考え方	24年度実績の約30%増		

地域 振興計画	基本方針	1	産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)	
	重点施策等	(3)	「食」を支える基盤づくり	基本目標
運営目標		14	新たに就農者を30名、漁業就業者を35名確保するなど、担い手の確保育成や国営開発農地等での畑作営農等を支援します。	
			①新規就農者を育成するための農業法人の担い手育成機能の強化を支援します。 ・新規就農希望者の研修を行う法人数 6法人 【24目標:6法人→実績:6法人】	
			目標設定 の考え方	丹後地域振興計画、地域農農業振興のリーダー・コーディネーター育成システム構築
			②農林水産業を支える多様な担い手を確保育成します。 ・新規就農者 30名 【24目標:30名→実績:28名】 ・新規就農希望者等の農業基礎知識の習得度 90% 【24目標:7回 → 実績:7回】	
			目標設定 の考え方	農林水産京カプラン 新規就農・就業者数100人/年(平成26年)
			③若手農業者による自主的な経営能力向上を支援します。 ・若手農業者による自主的な課題の抽出とセミナー開催による課題解決 2テーマ 【24目標:2回 → 実績:2回】	
			目標設定 の考え方	平成25年普及計画に基づく
			④集落型農業法人の経営安定を図り、京野菜部門等の売上アップを支援します。 ・京野菜部門の売上が増加した法人数 2社 【24目標:2社 → 実績:2社】	
			目標設定 の考え方	管内の経営拡大意向の強い集落型農業法人2社を選定
			⑤漁業就業研修の実施等により定置網漁業、底曳網漁業等への漁業就業者を確保します。 ・新規漁業就業者 40名(府全体)【24目標:35名→実績:40名】	
		目標設定 の考え方	「明日の京都」数値目標(26年度35名)	
小項目		⑥収益性の高い大規模畑作経営を実践するため、丹後国営開発農地の営農条件を整備し、丹後農業実践型学舎の運営を支援します。 一丹後農業実践型学舎創設に伴ない、円滑な実践研修開始に向けて研修用農地の土壌改良・排水対策等を実施します。 ・整備面積 20ha 【新規】 一 国営開発畑における担い手育成のために学舎生を受け入れ、開発畑における野菜栽培技術や商品開発手法等を習得する支援を行います。 ・受入学舎生 10名 【新規】		
		目標設定 の考え方	「次世代型農業経営者育成アクションプラン」に基づく地域に定着する若手農業者の育成目標	

運営目標

<p>⑦丹後地域特産物育成協議会と連携し、各作物4名以上の新規栽培者を拡大します。          ・みず菜4名、黒大豆枝豆4名、九条ネギ4名、小ギク4名          【24目標:みず菜4名、黒大豆枝豆4名、九条ネギ4名、小ギク4名 → 実績:みず菜4名、黒大豆枝豆6名、九条ネギ4名、小ギク4名】</p>	
目標設定の考え方	丹後地域特産物育成協議会における3カ年目標(H25～27)に基づく
<p>⑧茶産地基盤確立に向け、収益性を向上(荒茶量×単価)させ優良茶園化を推進するとともに、引き続き茶園面積拡大を目指します。          ・モデル茶園10a当たり粗収益額 40万円          【24目標モデル茶園10a当たり粗収益額 20万円→実績:一番茶のてん茶+秋てん茶 38万円/10a】          ・管内茶園面積 50ha 【24目標:50ha → 実績:47.3ha】</p>	
目標設定の考え方	平成25年度普及計画に基づく
<p>⑨国営農地でのタバコの品目転換を推進します。          ・葉たばこに代わる導入品目の選定 実証ほの設置4品目 【24目標:4品目→実績4品目】          ・収益性の高い品目(短形ゴボウ)の推進 栽培面積拡大 総面積3ha 【24目標:1ha→実績1.9ha(総面積2.5ha)】</p>	
目標設定の考え方	平成25年度普及計画に基づく

運営目標	15	野生鳥獣被害の半減を目指してシカを3,000頭捕獲するなど、有害鳥獣被害対策を推進します。
	小項目	①地域ぐるみで取り組む防除対策支援により、野生鳥獣の被害を24年度の被害額(H24年:94百万円)以下にします。 -シカ、イノシシなどの防除対策として広域防護柵の設置を支援するとともに、地域ぐるみの維持管理を定着させるための普及活動実施 ・防護柵設置集落 60集落 【24目標:60集落 → 実績:76集落】  -被害防除重点集落において住民参加による防除対策を実施。併せて1群については大量捕獲による個体数調整を実施 ・サル被害防除重点指導集落の設定 6集落で地域ぐるみの防除 【24目標: 5集落 → 実績: 6集落】 ・群れの個体数調整 1群 【24目標:1群 → 実績:0群】
		目標設定の考え方
	②新規狩猟免許取得者の拡大と、有害鳥獣の安定的な捕獲体制の維持・強化を進めます。 ・新規免許取得者数 20名 【24目標:20人 → 実績:12人】 ・講習会開催 1回 【24目標: 1回 → 実績: 1回】	
	目標設定の考え方	「京都府の新規狩猟免許取得者 100人確保」から丹後局は 20人に設定 新規免許取得者等の捕獲技術向上を図り、有害捕獲頭数を拡大
	③シカの生息数削減のため捕獲を推進します。 ・狩猟・有害による捕獲頭数 シカ3,000頭 【24目標:3000頭→実績:3000頭】	
	目標設定の考え方	京都府全体の捕獲目標(18000頭)から、丹後地域の推定生息頭数から算定した捕獲目標の約1.5を継続して捕獲
④有害鳥獣捕獲を支援します。 -複数の猟友会の連携による広域捕獲の推進 ・兵庫県と連携した広域捕獲 2回、丹後地域内一斉捕獲 2回 【24目標:兵庫県連携広域捕獲 2回 → 実績:2回】【24目標:丹後地域内一斉捕獲2回 → 実績:2回】  -鳥獣被害対策実施隊を編成し有害捕獲体制の充実を図る ・鳥獣被害対策実施隊の編成 2市町 【新規】		
目標設定の考え方	24年度実績をベースに設定	
運営目標	16	環境にやさしい農業を推進します。
	①地域をあげた環境にやさしい農業を推進します。 ・エコファーマー取得者数 300人 【24目標:総数260人→実績286人】 ・コウノトリも育む生物多様性フォーラム開催 1回 【24目標:1回→実績 1回】 ・コウノトリも育む生物多様性水稻展示ほ 9カ所 【24目標:1カ所→実績 8カ所】	
目標設定の考え方	平成25年普及計画に基づく	

地域 振興計画	基本方針	2	産業振興による丹後地域の活性化(ものづくり産業等地域産業の振興)	
	重点施策等	(1)	中小企業へのステップアップ支援	基本目標
運営目標	小項目	17	新たな雇用を創出するため、新規求人者数7,500人を旨すとともに、求人・求職のマッチング機会を増強し、総合的な中小企業支援・サポート体制の整備を推進します。	
			①機械金属と織物のものづくり企業の新たな分野への取り組みを展開するために、技術的課題へのチャレンジを支援するとともに、炭素繊維強化プラスチックの実用化研究と試作等を企業と共同して進めます。 ・試作等事業支援件数5件【新規】	
		目標設定の考え方	中小企業技術応援隊の活動成果としての事業支援件数及び新分野の試作件数	
			②「中小企業技術応援隊」と「中小企業応援隊」の連携によるオール丹後体制で、中小企業者の経営課題や企業のニーズに応じた経営サポートを行います。 ・応援隊による事業所相談件数 延べ5,000件 【24目標:延べ3,800件 → 実績:延べ4,829件】	
		目標設定の考え方	丹後地域振興計画(中小企業へのステップアップ支援)	
			③各種支援策を活用して、分野進出や経営改善等に取り組む中小企業者を支援します。 ・支援事業採択件数 50件 【24目標:40件 → 実績:46件】	
		目標設定の考え方	丹後地域振興計画(中小企業へのステップアップ支援)	
			④丹後Uターンセンターにおいて、U、Iターン就職を支援します。 ・U、Iターン就職者数 85人 【24目標:75人 → 実績:75人】 ・高校や大学、企業訪問回数 延べ100件【新規】	
		目標設定の考え方	丹後地域振興計画(ふるさと定住 Uターン等支援)	
			⑤求人と求職のミスマッチの解消を図るため、ハローワークや京都ジョブパーク北部サテライト等と連携し、就職面接会等を開催し、就業支援を行います。 ・就職面接会の実施 5回【24目標:3回 → 実績:4回】 ・参加企業者数 延べ130社【24実績:延べ100社】 ・参加者数 400人【24実績:340人】 ・京都ジョブパーク北部サテライトと連携した即戦力となる新規福祉人材の養成、就職セミナー、施設見学会の開催による介護・福祉人材の確保や、小・中高生等に対し福祉職場への理解を促進する取組による将来の福祉の担い手の育成します。	
目標設定の考え方	24年度実績の10~25%増			
	⑥介護・福祉サービスの向上を図るため、新卒者等の確保、人材育成及び人材定着等に取り組む福祉事業所を支援します。 ・福祉人材育成認証制度に取り組む事業所数 10事業所【新規】			
目標設定の考え方	宣言事業所:初年度の目標を管内福祉事業所の約半数に設定			

地域 振興計画	基本方針	2	産業振興による丹後地域の活性化(ものづくり産業等地域産業の振興)
	重点施策等	(2)	「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設有効活用 <b>基本目標</b>
運営目標	小項目	18	「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効活用を推進し、地域のものづくりを多角的に支援します。
			①織物、機械金属の技術相談を通じた在職者の人材育成を行います。 ・延べ5,000人 【24目標:延べ5,000人→実績:4,765人】
		目標設定 の考え方	24年度実績ベースに設定
			②(公財)京都産業21や業界団体と連携し、企業ニーズをきめ細かく把握しながら各種研修会、講習会を実施します。 ・受講者延べ3,500人【24目標:延べ3,500人以上→実績:延べ3,049人】
		目標設定 の考え方	24年度実績ベースに設定
			③機械加工などの技能検定のための受験対策講座を開催し、技術力の向上を支援します。 ・講座理解度 <u>90%以上</u> 【24目標:講座開催数10回→実績:9回】
		目標設定 の考え方	24年度実績ベースに設定
	④機械金属と織物ものづくり企業の新たな分野への取り組みを展開するために、技術的課題へのチャレンジを支援するとともに、炭素繊維強化プラスチックの実用化研究と試作を企業と共同して進めます。(再掲) ・試作等事業支援件数5件【新規】		
目標設定 の考え方	中小企業技術応援隊の活動成果としての事業支援件数及び新分野の試作件数		

地域 振興計画	基本方針	3 環境と文化の伝承		
	重点施策等	(1)	丹後ならではの自然環境・文化を活かし、守り育てる	基本目標
運営目標		19	森林の公益的機能の確保と府民ぐるみの取組を推進します。	
	小項目		①森林施業の集約化と間伐材の供給を拡大します。 ・森林経営計画の策定 2団地 【新規】 ・森林整備面積(間伐) 180ha 【新規】 ・搬出間伐量の拡大 3,500m <sup>3</sup> 【新規】	
		目標設定 の考え方	24年度実績をベースに設定	
			②多くの府民の参加を得るための講演会等を開催し、地域の森林を地域全体で守り育てるモデルフォレスト運動の取組を推進します。 ・参加人員 1,000人 【24目標1,000人→実績914人】 ・推進地区 8地区 海岸林の整備3地区(掛津、箱石、遊・三津)、人工林の整備1地区(大江山)、竹林拡大防止1地区(男山)、 広葉樹の整備3地区(大江山、太鼓山、角突山) 【24目標7地区→実績7地区】	
		目標設定 の考え方	24年度実績をベースに設定	
			③伐採した木材等について、新エネルギーとして活用します。 ・木質ペレットストーブを府関連施設で試行的に導入 1箇所 【新規】	
		目標設定 の考え方	丹後地域振興計画(林産物のバイオマス活用等の新用途開発の推進)	
		20	丹後の優れた自然環境や生活環境を守り、安心して生活できる地域づくりを進めます。	
運営目標	小項目		①漂着ごみの回収・適正処理を実施し、良好な海水浴場及び景勝地である海岸地域を保全します。 ・25箇所以上、管内 【24目標:10箇所→24実績:23箇所】 - 府民や市町と連携し、海岸漂着物発生抑制を目的の調査や啓発活動を実施 - 海岸及び河川流域の不法投棄防止パトロールを実施	
		目標設定 の考え方	京都府海岸漂着物対策推進地域計画	
			②市町及び保健所広報誌での不法投棄防止啓発を積極的に行うとともに、監視パトロールでの早期発見、迅速かつ厳正な対処に努め、産業廃棄物の不法投棄・不適正焼却・不適正処理を根絶します。	
	目標設定 の考え方	京都府産業廃棄物の不適正な処理を防止する条例に府の責務として規定		

地域 振興計画	基本方針	4	府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり(人々が交流・連携する地域共生)	
	重点施策等	(1)	人権の尊重、地域力再生・NPOとの協働	基本目標
運営目標	小項目	21	まちの仕事人によるコーディネートや地域主導型公共事業等を活用し、地域活動団体をはじめとする住民との協働体制のもとで、新たな丹後地域を創造します。	
			①地域住民や市町村等の地域のまちづくり提案の実現を図るため、まちの仕事人によるコーディネートや地域主導型公共事業、事業協定型事業等を活用し、府民協働によるまちづくりを推進します。 ・事業地域 7地域 【24目標:5地域→実績:5地域】	
			目標設定 の考え方	毎年5地域を目標に支援
			②協働コーディネーター等による相談支援・情報共有や地域力再生プロジェクト支援事業による支援を通じて、地域力再生団体を育成します。 ・支援団体数 延べ150団体 【24目標:延べ150団体 → 実績:延べ144団体】	
		目標設定 の考え方	24年度実績をベースに設定	

地域 振興計画	基本方針	4	府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり(人々が交流・連携する地域共生)	
	重点施策等	(2)	命の里の再生とふるさと保全活動	基本目標
運営目標		22	里力再生計画の実現に向けた活動を支援します。	
	小項目		①里力再生計画を策定し、生活環境基盤の整備や地域特産物の開発、高齢者福祉などの取り組みを支援します。 ・取組地区数 15地区 [宮津市世屋、日ヶ谷、日置、京丹後市大宮町五十河、大宮南、久美浜町神野、佐濃、弥栄町野間、伊根町本庄・筒川、朝妻、与謝野町滝・金屋、25年度新規は宮津市養老、京丹後市(公募2地区)、伊根町伊根] 【24目標:14地区 → 実績:13地区】	
		目標設定の考え方	24年度実績より2地区増(2地区完了新規4地区)	
			②田舎暮らし体験ツアーを実施し、移住定住のための機会づくりを進めます。 ・過疎高齢化地域では子育て世代の人材の確保が必要であり、府が市町と連携し命の里地域を中心に体験ツアー開催 3回【新規】	
		目標設定の考え方	丹後の四季の魅力をアピールできるよう夏、秋、冬の3回実施	
			③移住定住のための新規移住者の起業を支援します。 ・丹後地域への移住希望者の定住が可能となるように、里の仕掛人等と連携し地域での起業を支援 定住起業家数 2名【新規】	
目標設定の考え方		宮津与謝エリア、京丹後市エリアで各1名、計2名を目標		
運営目標		23	地域住民自らが描く村の将来像の実現に向けた活動を支援します。	
	小項目		①人と資源を最大限に活用した地域オリジナルの「一村一業活動」を展開する明日の「京都村」づくりの取り組みを支援します。 ・取組地区数 2地区 【24目標:2地区 → 実績:1地区】	
		目標設定の考え方	府内で年間5地区の新規採択地区を想定しており、丹後管内で2地区の新規採択を設定	

地域 振興計画	基本方針	5 府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
	重点施策等	(1) 保健医療	基本目標	
運営目標		24	府立医科大学附属北部医療センター等との連携により、地域の保健医療体制の整備を支援します。	
			<p>①府立医科大学附属北部医療センター、京都地域包括ケア推進機構と連携を強化し、地域の医療、福祉関係者間の効果的な連携体制を構築します。</p> <p>－丹後地域保健医療協議会の開催や連携部会における事例研究等を進め、多職種シンポジウムの開催による顔の見える関係づくりに取り組みます。</p> <p>－病棟看護と訪問看護が共同利用できる患者指導用マニュアルを作成するなど、退院後の在宅療養の質の向上を図ります。</p>	
		目標設定 の考え方	「京都府健康福祉計画別冊地域における主な課題と検討」において「地域医療連携体制の構築」に対する対策を第1に位置づけ	
		小項目	②府立医科大学附属北部医療センターと連携し、管内への医療提供体制の充実を支援します。 －「総合診療科」の設置と総合診療医の養成、北部地域の病院への医師派遣機能の充実、施設設備整備による機能強化(救急室拡張、手術室改修等)など	
		目標設定 の考え方	「府立与謝の海病院の府立医科大学附属北部医療センター開設に向けて明記された具体的施策の推進方向	
			<p>③地域医療再生基金を活用した診療所等の医療機器の高度化、病院の共同利用機器の整備等により、地域の医療体制の充実を支援します。</p> <p>・診療所設備高度化事業を活用した支援件数 5件 【新規】</p>	
	目標設定 の考え方	丹後地域医療再生計画において医師確保対策のための上記事業を記載、25年度当初予算に計上		

運営目標	25	「たんご健康長寿日本一」を推進します。	
	小項目	①がんの予防と早期発見・早期治療を進めるために、市町が実施する胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん検診の受診率50%を目標に、受診率の低い市町の受診率が30%以上になるよう支援します。 ー「がん対策推進部会」の参画団体や地域職域団体(企業等)と協働し、がん予防や治療法等に関する健康出前、セミナー、キャンペーン等を実施し、家族含めた検診受診行動に向けた気運を醸成します。 ・健康出前、キャンペーン等 10回 【24目標:5回→実績:9回】 ー学校、養護教諭部会等と連携し、教育現場での啓発を進めるための基盤整備を図り、中学生を対象とした「生命のがん教育」をモデル的に実施します。 ー検診受診率の低い市町を重点的に、当該市町に対し、きめ細かい受診勧奨が行えるよう支援します。	
		目標設定の考え方	京都府がん対策推進計画 がん検診受診率目標29年度に50%
		②身近なところで、日常的に参加できる地域のサロン等で、健康づくりや介護予防の取り組みを進めます。 ーサロンの担い手(いきいきサポーター)の養成と担い手が使用できる活動メニューを作成します。(目標 サポーター養成50人)【新規】	
目標設定の考え方	地域サロン数等を勘案し、初年度は50人を設定		
運営目標	小項目	③住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくための地域リハビリテーションの充実強化を進めます。 ー宮津与謝地域での地域リハビリテーション支援体制の強化に向け、地域包括支援センター等との連携を強化するとともに、地域課題に応じた検討会等を開催し、体制づくりへの支援を行います。 ー地域リハビリや介護に従事する職員への対応力の向上を図るため、地域リハビリテーション支援センターと連携しながら、研修会や事例検討会の開催、情報提供を積極的に行うとともに、地域包括支援センター等に対するリハビリテーションサービスに関する助言や相談対応を行います。 ・研修会開催 4回 【新規】	
		目標設定の考え方	京都府総合リハビリテーション推進プランに位置づけ
		26	家畜伝染病防疫対策を徹底し、府民生活の安心安全を高い水準で確保します。
運営目標	小項目	①鳥インフルエンザ、口蹄疫等家畜伝染病のまん延を防止します。(まん延防止状況 0件) ー海外悪性伝染病が万が一発生した時のまん延防止のために丹後地域の初動防疫体制を更に強化 ・農場立入、前線・対策基地の設置及び情報伝達に現地対策本部の設置・運営を加えた総合的な実地演習を今年度初めて実施 ー農家の飼養衛生管理状況の点検・指導を徹底 ー農場への鳥インフルエンザウイルス侵入監視を徹底 ー家畜伝染病の発生状況や動向、対策等、予防・まん延防止のために必要な情報を農家等に提供	
		目標設定の考え方	農林水産京カプラン(安心・安全づくり)(明日の京都・中期計画・暮らしの安心)、特定家畜伝染病防疫指針

地域 振興計画	基本方針	5 府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり		
	重点施策等	(2) 高齢者、障害者及び子育ての支援	基本目標	
運営目標	27	高齢者が安心して地域で生活できる地域包括ケア体制を構築します。		
	小項目	①京都市立医科大学附属北部医療センター等の「もの忘れ外来」や「認知症疾患医療センター」と連携しながら、地域内の介護予防に取り組みます。		
		目標設定の考え方	京都府保健医療計画、地域包括ケア推進プランに位置づけ	
		②京都地域包括ケア推進機構北部ランチと連携して、市町が行う認知症の方やその家族を地域で支援する体制づくりを支援します。 ・各市町での徘徊捜索模擬訓練の拡大を支援 3箇所 【24目標:3箇所→実績:2箇所】 ・初期認知症カフェの設置を支援 2箇所 【新規】		
	目標設定の考え方	京都府保健医療計画、地域包括ケア推進プランに位置づけ		
	③地域包括ケア基盤の整備を支援します。 ・特別養護老人ホームの整備支援 1箇所 【24目標:2箇所→実績:2箇所】 ・市町村が整備する地域密着型の小規模多機能施設等の整備 3箇所 【24目標:3箇所→実績:2箇所】			
目標設定の考え方	京都府保健医療計画、地域包括ケア推進プランに位置づけ			
運営目標	28	障害者の自立と社会参加を支援します。		
	小項目	①障害者就業・生活支援センターを中心に、関係団体、市町と連携し、障害者の就労と定着を支援します。 ・圏域での就職人数 25人以上 【24目標:20人→実績:25人】 ・障害者雇用率2%の達成に向け、京都ジョブパークと連携しながら積極的に企業訪問を実施 【新規】		
		目標設定の考え方	京都府障害者就労支援プラン	
		②売れる製品づくりや、新たなほっとはあと製品の開発などにより、販売の促進と工賃アップを支援します。 ・平成23年度管内工賃平均14,405円の10%以上 【新規】		
目標設定の考え方	京都府工賃向上計画			

<b>運営目標</b>	<b>小項目</b>	<b>29 健やかに子どもが育つ支援体制を充実します。</b>		
		<p>①発達障害児とその親への支援体制を充実させます。          ー特別支援学校や親の会、ペアレントメンター等の関係者のネットワークを充実させ、地域全体で発達障害児等とその親を支える地域づくりを進めます。          ーほめ方教室、自閉症児親の会、小児難病患者家族の交流会を開催し、障害のある子とその親の不安・ニーズを把握し孤立化を防ぐ取組を進めます。          ・<u>ほめ方教室等参加者 対象者の5割以上</u> 【24目標:対象者の5割→実績:5割】</p>		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">目標設定の考え方</td> <td>未来っ子いきいき応援プラン</td> </tr> </table>	目標設定の考え方	未来っ子いきいき応援プラン
		目標設定の考え方	未来っ子いきいき応援プラン	
		<p>②医療処置の必要な重症な子どもに対し、医療機関や保育、療育、教育機関等と連携し健やかな成長を支援します。          ー在宅で療養中の重症患児が適切なりハビリや安心して在宅で生活できるように関係者会議を開催し、地域で支えるネットワーク、体制づくりを進めます。          ー在宅療養の情報を保護者や支援チームメンバーが共有できる連携手帳等やガイドブックを作成します。</p>		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">目標設定の考え方</td> <td>未来っ子いきいき応援プラン</td> </tr> </table>	目標設定の考え方	未来っ子いきいき応援プラン
		目標設定の考え方	未来っ子いきいき応援プラン	
<p>③安心して子育てができる環境づくり・丹後地域子育て支援ネットワークを中心として、子育て中の親、子育て支援団体と連携、協働した取組を実施し、子育てに関するニーズに対応できる地域づくりを推進します。          ・<u>子育てネットワークの参画団体 59団体以上</u> 【24実績:59団体】</p>				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">目標設定の考え方</td> <td>未来っ子いきいき応援プラン</td> </tr> </table>	目標設定の考え方	未来っ子いきいき応援プラン		
目標設定の考え方	未来っ子いきいき応援プラン			
		<p>④病児、病後児保育の整備          ー病児・病後児保育の新規開設を支援します。</p>		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">目標設定の考え方</td> <td>未来っ子いきいき応援プラン</td> </tr> </table>	目標設定の考え方	未来っ子いきいき応援プラン
目標設定の考え方	未来っ子いきいき応援プラン			

地域 振興計画	基本方針	5	府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり	
	重点施策等	(3)	自殺のないまちづくり	基本目標
運営目標		30	自殺のサインを見逃さない地域づくりを推進し、自殺者数を昨年より減少させます。	
	小項目		①オール丹後の連携体制「みんなで支えあう丹後こころの支援ネットワーク」(147団体)を活用し、管内での自殺者数を昨年(18人)より減少させます。 -ネットワークを活用した、効果的な広報・啓発、相談会の実施 -出講、ゲートキーパー研修、相談機関職員研修、かかりつけ医研修等の実施による、うつ、認知症、自殺予防についての理解の拡大とスキルアップ -気軽に立ち寄り弱音を吐ける「居場所」の拡大 ・2箇所【24実績:1箇所】	
	目標設定の考え方		自殺対策大綱	

地域 振興計画	基本方針	5	府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり(府民安心のまちづくり)	
	重点施策等	(4)	安心安全な消費生活の実現	基本目標
運営目標		31	安心・安全な消費生活の実現を図ります。	
	小項目		①府民協働防犯ステーションの取り組みと連携し、消費者被害の未然防止に向けて出前講座を開催します。 ・開催箇所 15箇所【新規】 ・参加者数 300人【新規】	
	目標設定の考え方		消費生活センターの数値目標から設定	
	小項目		②「自立した消費者」の育成に向けて、消費者教育に取り組みます。 ・学校等での出前講座の実施 8回 700人【24実績:6回 497人】	
	目標設定の考え方		24年度実績より2回増	

地域 振興計画	基本方針	5 府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり(府民安心のまちづくり)		
	重点施策等	(5) 安心安全のまちづくり (河川整備、土砂災害対策等)	基本目標	
運営目標		32 市町の地域防災計画の見直しや地域の互助による救急救助体制づくりを積極的に支援します。		
		<p>①管内市町の地域防災計画の見直しを積極的に支援し、大規模災害時等の迅速な対応力を向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－国の原子力災害対策指針の見直し等を踏まえ、市町防災計画の見直しを支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急被ばく医療(安定ヨウ素剤、スクリーニング)、モニタリング等</li> </ul> </li> <li>－原子力災害対応訓練を実施し、防災計画の検証とともに、災害時における地域の対応力の向上を図る <ul style="list-style-type: none"> <li>・府総合防災訓練(H25.9.1 宮津市で開催)で宮津市の住民避難訓練等を共同実施</li> <li>・宮津市(自治会避難対策本部設置訓練等)や伊根町(住民避難訓練等)が実施する訓練を関係機関と連携して共同実施</li> </ul> </li> </ul>		
	小項目	目標設定 の考え方	国が順次見直しを行うことへの適切な対応とともに、訓練を通じた計画内容の検証、災害への対応力の向上を図る	
		<p>②消防署からの遠隔地域で、消防団や市町と連携して、災害時の救助や傷病者などへの救急救助体制を確立する『ふるさとレスキュー』の取組を支援します。</p> <p>・支援地域数 4地域 【24目標:2地域→実績:2地域】 [新規 2地域:上宇川地域(京丹後市)、蒲入地域(伊根町)] [継続 2地域:下宇川地域(京丹後市)、野間地域(京丹後市)]</p>		
	目標設定 の考え方	中山間地域の防災対応力強化		

運営目標	33 河川整備や土砂災害対策等安心安全のまちづくりを推進します。	
	①近年浸水被害が頻発している市街地域の河川の改修整備を推進し、暮らしの安心・安全を支えます。 ・岩屋川[事業完了]、加悦奥川[宮野橋着手]、福田川[苗代橋着手]・新庄川、小西川(丹波工区)[工事着手]	
	目標設定 の考え方	全体計画、必要量による
	②地域の安心・安全を支える土砂災害対策工事を推進(砂防事業、急傾斜事業、治山事業)し、防災・減災を図ります。  <ul style="list-style-type: none"> <li>ー土砂災害の発生若しくは恐れがある10箇所<small>の砂防事業の推進(内1箇所完了、5箇所工事着手)</small></li> <li>【24目標: 11箇所推進(内1箇所完了、2箇所工事着手)→実績: 11箇所推進(内1箇所完了、2箇所用地完了工事発注準備)】</li> <li>ー平成23年度に台風で大きく被害を受けた地区(山地・溪流)において治山事業による重点的な復旧工事推進</li> <li>[平成23年度台風被害額: 343,400千円 → 復旧額: 222,500千円(3年間で復旧予定)]</li> <li>・復旧工事推進箇所5箇所の内、復旧完了箇所 4箇所 【24目標: 2箇所→実績: 2箇所】</li> </ul>	
	目標設定 の考え方	・施設整備の計画的推進 ・要復旧箇所8箇所(24年度2箇所復旧、残り2か年で6箇所復旧)
	ー崖崩れの発生若しくは恐れがある6箇所 <small>の急傾斜事業の推進(内2箇所完了、1箇所工事着手)</small>	
	【24目標: 8箇所推進(内2箇所完了、1箇所工事着手)→実績: 8箇所推進(内3箇所完了、1箇所工事着手)】	
	目標設定 の考え方	施設整備の計画的推進
	③土砂災害のおそれがある区域を明確にし、警戒避難態勢の整備を進め、住民の安心・安全を支えます。  <ul style="list-style-type: none"> <li>ー土砂災害警戒区域等を450箇所指定(指定箇所数 2,150箇所) 【指定率55%⇒70%】</li> <li>【24目標: 指定箇所数350箇所→実績: 419箇所】</li> </ul>	
	目標設定 の考え方	早期指定に向けて、24年度実績の1割増
④災害と雪に強い道路ネットワークを整備し、災害時の避難・救助や物資の安定した供給が図れるようにします。  <ul style="list-style-type: none"> <li>ー緊急輸送道路の整備促進 国道312号(橋爪地区)、(野中地区)[工事着手]、国道482号(丹後弥栄道路)【再掲】</li> <li>ー緊急輸送道路である国道178号(甲山橋)、網野岩滝線(弥栄大橋)、温江加悦線(順気橋)の耐震対策完了</li> <li>・3橋完了 (全体73橋のうち、70橋完了)</li> <li>ー緊急輸送路以外の橋梁(50m以上)の耐震補強推進</li> <li>・2橋完了、4橋推進 (全体13橋のうち、2橋完了) 【24目標: 1橋完了、1橋推進→実績: 2橋推進】</li> <li>ー冬場の幹線道路の安全性を向上させる工事の推進</li> <li>浜丹後線(中山: スノーシェルター)[工事完成]、網野岩滝線(堀越: 雪崩防止柵)[工事着手]</li> </ul>		
目標設定 の考え方	施設整備の計画的推進 緊急輸送道路に係る橋梁耐震化目標(H27年度 100%) 25目標 対象73橋の内70橋の耐震化完了 緊急輸送道路以外の耐震化必要橋梁(50m以上) 13橋の耐震化の計画的推進	

小 項 目	⑤建築物の安心・安全の確保	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ 建築物の安心・安全の確保大規模地震に備えた住宅の耐震対策の推進</li> <li>－ 府・市町が緊密な連携をとり、広報活動の強化により耐震診断の受診を推進し、診断済家屋に対して、簡易型改修を含めた耐震改修制度の案内を行うとともに、耐震診断結果の個別説明に職員が同席するなど、木造住宅耐震改修(補助)の促進を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修(簡易型耐震改修を含め)50戸 【24目標:耐震改修(簡易改修含む)50戸→実績22戸】</li> </ul> </li> <li>－ 一般府民向けに、市町及び建築関係団体との協働による民間木造住宅等の耐震対策の普及や啓発を目的として耐震フェア開催</li> </ul>	
	目標設定 の考え方	目標未達成のため再び24年度目標を設定